

県が求める新技術・新工法

I 測量・設計・調査・情報処理に関する技術

テーマ No	情報処理・その他	
I-1	情報共有システム	・受発注者どちらからも容易に発議できるWeb会議機能（画面共有による協議の円滑化が図れる。） ・プロセスチェックや電子納品チェックシート等の様式をASPで直接入力して、帳票出力できる。（Excelファイルをダウンロードして入力後、再度アップロードする手間が省ける。ペーパーレス化の推進。） ・図面や数量計算書等の設計書データ登録機能（現場臨場や検査、監査等の際にASPで用意に設計書の閲覧ができる。）
I-2	遠隔臨場	電波が届かない、断続的な接続しかできない山林地域等での安定通信が可能な遠隔臨場システム。
I-3	鉄筋コンクリート 構造物の配筋検査 支援システム	鉄筋コンクリート構造物の配筋検査を誰でも簡単に実施できる支援システム

県が求める新技術・新工法

Ⅱ 新工法・新材料及びその他新技術

テーマ No	新工法・新材料等	
Ⅱ-1	騒音・振動対策	住宅に近接した工事現場において発生する騒音や振動の影響を軽減する技術・工法や測定方法等
Ⅱ-2	堤防強化対策	既設堤防に遮水シートを施工し覆土・張芝で被覆する堤防対策工において、張芝の活着不足により覆土が崩落する事例が確認されております。 材料や施工方法等の工夫により、このような事象を防止する技術があれば、提案してほしい。
Ⅱ-3	仮設施設	安全に施工するための、仮設足場等の紹介 (損料、歩掛含む)
テーマ No	ゼロカーボン	
Ⅱ-4	環境に配慮した二次製品 (自己治癒型含む)	温室効果ガスの排出削減を図る二次製品の紹介 (材料単価、歩掛含む)

県が求める新技術・新工法

Ⅲ 維持管理に関する技術

テーマ No	補修・老朽化対策等	
Ⅲ-1	インフラメンテナンス	橋梁補修において、工事実施時に床版を直接確認することで補修範囲が増大するケースが多く、予算管理が難しいため、事前（点検時等）に橋面舗装未撤去で床版の損傷状態（範囲、厚さ）を確認する方法、技術。
Ⅲ-2	簡易舗装合材による効果的な穴埋め作業	道路ハトロール等で路面の穴を発見した場合、常温合材により穴埋め作業を行っている。 しかし、交通量が多い交差点、湿った路面などで作業した場合、何度も飛ばされてしまう。 簡易に対応できる効果的な補修材、補修方法があれば提案いただきたい。
テーマ No	雑草対策等	
Ⅲ-3	効果的な路側の防草処理	梅雨時期頃から路側より草が生え、通行や視線障害することが多くなる。 対応するための予算や人的資源に限りがある中で、費用や手間のかからない方法があれば、提案いただきたい。
Ⅲ-4	効果的な支障枝の処理	梅雨時期頃から路側より支障枝が生え、通行や視線障害することが多くなる。 対応するための予算や人的資源に限りがある中で、費用や手間のかからない方法があれば、提案いただきたい。
Ⅲ-5	法面の除草対策	道路法面等長大法面の効果・経済的な除草対策